

研究課題名：	血管内治療による脳動脈母血管閉塞術後の長期治療成績
所属(診療科等)：	公立昭和病院 脳神経外科
研究責任者(職名)：	吉河 学史 (部長)
研究期間：	2021年7月15日～2022年3月31日
研究目的と意義：	血管を大きく巻き込み術中の血管損傷のリスクが大きな脳腫瘍や、動脈全体が大きく膨らんでおり病的な部分だけを塞栓するのが困難な脳動脈瘤に対して、該当する血管を病変ごと閉塞し、血流を遮断する治療法があります。本治療は確実に血流を止められる点で確実な治療効果が期待できる一方で、長期的には脳を栄養する血流が減少することで患者さんに不利益をもたらす可能性があることも指摘されており、その長期成績については十分な検討がなされていません。本研究ではこの血管遮断術を受けた患者さんを長期に追跡し、その成績を明らかにすることを目的としています。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2011年4月1日から2021年3月31日の間に当院脳神経外科でカテーテルを用いた脳動脈の母血管遮断術を受けた患者さんを対象とする。 ●利用するカルテ情報 診断名、身体所見、検査結果、診療についての記録等 ●研究方法 電子カルテに記載されている血液検査や画像データを収集し、東京大学附属病院脳神経外科に送付し後ろ向きに検討を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院、東京大学医学部附属病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：吉河 学史 (脳神経外科医師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042(461)0052 (代表) FAX：042(464)7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042(461)0052 内線2247 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>